

廿日市西高等学校の生徒が「やさしい日本語」を用いて 留学生との異文化交流授業を実践！

廿日市西高等学校では、この度、I G L医療福祉専門学校日本語学科（所在地：広島市）の留学生をお招きし、本校の生徒と留学生との間で異文化交流授業を実施します。本交流授業は、本校の生徒が主体となって行うものです。生徒が総合英語研究の授業で学んできたコミュニケーション力を活かし、「やさしい日本語」を用いて、日本語学科で学ぶ留学生と、世代や出身国の垣根を越えた交流を行います。

是非、取材にお越しください。

- 1 日 時 令和7年6月20日（金） 10：45～12：35
- 2 場 所 広島県立廿日市西高等学校
3－1、3－2教室（生徒棟3階）、視聴覚教室（管理棟2階）
- 3 参加者 ○I G L医療福祉専門学校 日本語学科の留学生
（出身国：ネパール、中国、ベトナムなど51名）
○廿日市西高校 総合英語研究 選択者（第3学年46名）
- 4 内 容 第1部：「日本と母国の違いを発見しよう」 10：45～11：15
小グループに分かれて、留学生の母国と日本の文化や習慣の違いをテーマにプロジェクトワークを実施。
第2部：「日本の遊びを体験しよう」 11：25～11：55
高校生が「福笑い」のルールを「やさしい日本語」で説明し、グループで体験。
第3部：「母国のことばで話してみよう」 12：05～12：35
留学生が母語のミニレッスンをを行い、高校生がそれぞれの言語の挨拶や自己紹介に挑戦。

5 交流授業の目的

この度の交流授業は、生徒にとっては、「やさしい日本語」を用いた異文化交流を通し、コミュニケーション力を育む機会となり、留学生にとっては、日本の高校生との対話を通じて実践的な日本語に触れる機会となります。グローバル化が進む現代において、多文化共生を目指し、互いの言語や文化を尊重し合うことが求められていることから、この交流授業を通じて、将来地域で活躍する若者たちが、より包括的で前向きな社会を築くことを目指しています。

▼昨年度の留学生との交流の様子

